



今月のテーマは…
これからの行政運営に必要な
3つの「S」と3つの「C」

日本は人口減少社会に突入し、西尾市の人口も近い将来減少に転じることが予想されています。前例踏襲主義、事なかれ主義に陥ることなく、時代の変化に対応できる行政組織を目指していきます。

日本の人口が減る中で、西尾市は今後どうなると考えますか。市長 西尾市の人口は現在増え続けていますが、近い将来、減少することが予想されています。少子高齢化に伴い、生産活動の中心となる 歳々 歳の人口が減れば、市の税収が減少します。さらに、地方交付税の縮減が続いているため、**厳しい財政運営を強いられる**こととなります。

厳しい状況の中、西尾市の行政組織には何が今後必要ですか。市長 今は変化が早い時代です。行政を運営していく上でも、前例踏襲主義、事なかれ主義から脱却し、時代の変化に取り残されないようにしなければなりません。そのため重要なのが、**3つの「S」と3つの「C」**です。

3つの「S」

● Slim (スリム)
市の裁量で使える投資的経費を増やすため、事業の廃止や縮小、民間委託をはじめとする官民連携を進めるとともに、人件費を削減し、行政のスリム化に努めます。

● Smart (スマート)

あらゆる技術が急速に進歩し、私たちの生活は大きく変わる可能

性があります。市の業務の中で必ずしも人がやらなくてもよいものは、**AI (人工知能) や ICT (情報通信技術) を積極的に活用し**、自動化・省略化を目指します。スマート自治体：先端技術を駆使して事務の自動処理を進め、そのためのシステムを自治体間で標準化・共通化して無駄な重複投資を避ける構想

● Speedy (スピーディ)
慎重な検討が必要なこともありますが、提供するサービスや予算は、**スピード感を持って決定**します。窓口でも、来訪者を待たせないよう努めます。

3つの「C」

● Change (チェンジ)
現状維持を良しとし、何もしないのは楽です。しかし、市民サービスの向上や市の発展のため、**事なかれ主義に陥ることなく、常に改善意識を持ちながら業務**に取り組みます。

● Challenge (チャレンジ)
地方がそれぞれの特徴を生かして活性化に取り組む地方創生の時代では、他の地域と横並びではなく、**市独自の魅力を磨き上げていくための「創造性」が鍵**になります。



新規事業の提案など、**新しいことへのチャレンジ**を組織全体に奨励していきます。

● Communication (コミュニケーション)

世の中で起こる問題や悩みの多くは、人間関係が原因です。**市民の皆さんとの円滑なコミュニケーションを心掛け**、意見・要望を真摯にお聴きするよう努めます。職場内では、報告・連絡・相談を怠ることなくしっかり行います。

西尾市では事務職員が約500人、保育士・消防士・病院職員を合わせると約1600人の職員が働いています。3つの「S」と3つの「C」を周知徹底し、市民の皆さんから大きな期待と信頼を寄せられる行政組織にしていきます。

